



北村 あや子 区政ニュース

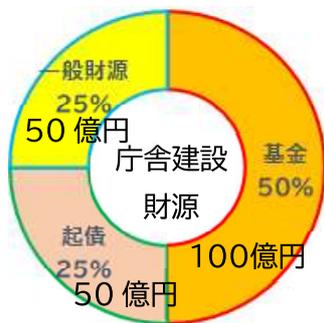
荒川区新庁舎建て替えを考える

1968年竣工の荒川区本庁舎。区は新庁舎を現庁舎向かいの荒川公園に建設し、新庁舎完成後にサンパール荒川を現在の庁舎に設置する案を示しました。区庁舎建て替えについて考えます。ご意見をお寄せください。

2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度	2032年度	2033年度	2034年度
基本方針策定	基礎調査	基本構想・基本計画		基本設計		実施設計		建設工事			使用開始

毎年12億5千万円を新庁舎建設のために貯金

荒川区は今年度から毎年12億5千万、2030年度まで8年間で100億円をためる計画です。2023年度末見込で基金は458億円です。



区民への情報公開は

2019年11月本会議

★自民党議員が新庁舎建設質問

答弁 検討委員会を立ち上げ、検討開始している。

2022年9月・11月、2023年6月本会議

★自民党議員が新庁舎建設質問

2023年7月19日

総務企画委員会に具体的に「たたき台」提案

2024年2月2日

「荒川区新庁舎整備基本方針案」では、区役所公園に本庁舎を建設し、現庁舎跡にサンパール荒川整備移転案が出てきました。

すでに「本庁舎整備検討資料作成」を石本建築事務所に937万円で委託。快適で機能的かつ経済的な庁舎の実現に向けた「執務環境調査」の委託先も選定中です。新庁舎建設に向けて進み始めているのに、肝心な区民への情報公開や、区民の意見を聞く公聴会などはまだ計画されていません。区民全体に関わることで

す。財源や行政の優先順位の問題もあります。庁内や議会の議論だけで進めてはならないと思います。

現庁舎は耐震工事済みで耐震性確保

耐用年数は65年と言われていましたが80年間の長寿命化のために補強工事を済ませて、耐震性は確保されています。区は80年まで使用する場合は追加対策の検討が必要としています。

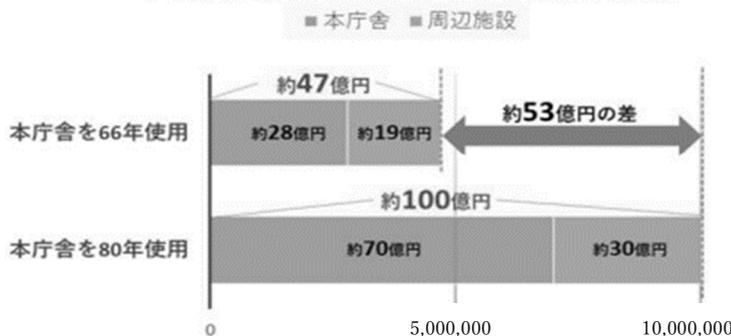
改修工事は15年間で約30億円

2009年3月から2011年9月まで行った本庁舎耐震改修工事が15億4千万円。その後の外壁や防水などの改修工事が14億5千万円。合計約30億円の改修工事を行いました。空調・給排水・電気等の大規模改修の課題が残っていると言います。

2033年工事完了の方が53億円経費が少ない

最長80年使用した場合と、66年まで使用した場合の回収経費を比べると53億円と区は言いますが、算出根拠は示されていません。

今後必要となる大規模改修・維持補修経費の比較



発行:日本共産党議員団 TEL:3802-4627 FAX:3806-9246

e-mail:arajcp@tcn-catv.ne.jp

<北村あや子事務所> 荒川区西尾久2-4-8-1階

TEL&FAX:3894-6668



防災スポット用地取得 西尾久2丁目と5丁目に

防災スポットは日常的な憩いの場として、災害時には火災の延焼遅延など防災性の向上を図るために設置されています。西尾久地域では、荒川区が新たに西尾久2丁目8-7(お寿司屋さんとピザ屋さんのあった場所)と西尾久5丁目17-1

2(西尾久中町会会館の南側)の2か所を取得し、今後、防災スポットとして整備する予定です。すでに土地開発公社が取得済みで、2月会議に出された補正予算案が可決次第、区が取得します。

2丁目防災スポットの工事は2024年10月以降に始まり、年度内に完成予定です。5丁目防災スポットは2025年度内に工事着工・完成予定。

区は今後も地域防災の一環として土地の購入を進めていくそうです。万が一の災害・火災で燃え広がらない街づくり、木造密集地域の改善を進めることが求められます。

	西尾久2丁目東	西尾久5丁目
取得額	約22,334,000円	約54,561,000円
着工予定	2024年10月以降	2025年度



西尾久2丁目東防災スポット用地

【問合せ先】 住まい街づくり課 電話3802-3111(内線 2828)

中野区と品川区で教材費補助を実施

中野区は昨年9月(2学期)から物価高騰による経済的負担を軽減するために、保護者が負担する小中学校の教材費一部を補助しています。品川区は、新年度4月から書道用具や絵の具、ドリルなど副読本、お道具箱や計算カード、裁縫道具セットなど各家庭が負担している教材費を全額、区が負担し、保護者負担をゼロにします。

荒川区でも実施するよう、日本共産党区議団は条例提案を行います。給食無償化に続いて、実現したいです。

東京都教育委員会「保護者が負担する教育調査報告書」

～学校納付金調査 2021年度～

小学校児童1人当たり

教科活動費 8,640円

中学校生徒1人当たり

教科活動費 12,387円

修学旅行遠足費 13,107円



中野区 予算7か月で8700万円

小学校 児童1人 5,000円

中学校 生徒1人 9,000円

★学校を通して保護者口座に振込

品川区 予算5億4940万円

学年ごとに1人あたり11,000円
～39,000円を各学校に交付する。

学校給食費東京都が1/2支援

これまで区も求めてきた学校給食の無償化財源の2分の1は東京都が負担することになりました。

また子どもの医療費無料化への国のペナルティーがなくなりました。この二つで約4億円を超える区の負担が軽減されます。軽減分の4億円は子どものために使いましょう。荒川区立小中学校児童生徒数は約1万3千人です。品川区は約2万1千人ですので、割り返すと荒川区は3億4千万円で実現できます。

特別支援学校の給食費も4月から無償に

日本共産党区議団は区立小中学校で無償にした際に「区立支援学校がないので都立支援学校に通学している。都が決断するまでの間、区として同様に補助金を出すべき」と質問や予算修正を行ってきました。1年遅れとなりましたが、東京都の新年度予算に組み込まれ、4月から無償になります。

日時: 2024年3月15日(金) 18:30～20:00

会場: 北村あや子事務所(西尾久2-4-8)

TEL&FAX: 03-3894-6668 **要予約**

日々の生活、仕事、相続・・・ひとりで悩まずに相談を。

